

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成27年 3月 9日

計画の名称	つがる市における循環のみの実現																				
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）						交付対象	つがる市													
計画の目標																					
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
・ 下水道処理人口普及率を23%（H22当初）から25%（H26末）に増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値					備考							
							当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）												
・ 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）							23%			23%		25%									
全体事業費		合計 （A＋B＋C）		942百万円		A		884百万円		B		0百万円		C		58百万円		効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）		6.2%	
交付対象事業																					
A1 下水道事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名		事業内容		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
													H22	H23	H24	H25	H26				
A-1-1	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	朝日地区枝線整備		污水管 φ=150・200mm L=448m		つがる市						51			
A-1-2	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	林地区幹線・枝線整備		污水管 φ=75～200mm L=5,817m		つがる市						550			
A-1-3	下水道	過疎	つがる市	直接	—	水セ	増設	つがる市木造浄化センター		処理能力 3,020m ³ /日		つがる市						166			
A-1-4	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	全種	調査・設計等		管渠 L=6,265m		つがる市						101			
A-1-5	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	全種	効率的な事業実施のための基本的な計画策定業務		全体計画 A=約364ha		つがる市						16			
合計																		884			
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名		事業内容		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
													H22	H23	H24	H25			H26		
合計																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考			
C 効果促進事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名		事業内容		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
													H22	H23	H24	H25			H26		
C-1-1	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	朝日地区端部枝線（単独管）整備		污水管 φ=150mm L=7m		つがる市						1				
C-1-2	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	林地区端部枝線（単独管）整備		污水管 φ=150mm L=715m		つがる市						52				
C-1-3	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	調査・設計等		管渠 L=715m		つがる市						5				
合計																		58			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考			
C-1-1	基幹事業である枝線（A-1-1）と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。																				
C-1-2	基幹事業である幹線・枝線（A-1-2）と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。																				
C-1-3	基幹事業である幹線・枝線整備の調査・設計等（A-1-4）と接続した端部枝線整備調査・設計等を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。																				

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

